



医療用立体モデル（医療用の人体・臓器の立体モデル）は、医学教育、医療シミュレーション、医療機器開発評価、患者コミュニケーションなどに用いられ、その市場は急拡大しています。しかし、その妥当性、品質の設定・評価の方法、また適正な利用・応用の考え方は標準化されていません。

本コンソーシアムの目的は、医療用立体モデルの開発・製造・評価・利用技術について、産学官の連携を通して関連技術の向上と、国際標準化や関連産業の発展に貢献します。

活動内容

- 会員限定講演会の開催
2020年度の講演会テーマの例
(骨)モデルの国際標準化
血管内治療用立体モデルの創生/課題と展望
- 分科会
国際標準化活動(ISO/TC150/WG14)
利用技術に関する情報収集など

加入のメリット

- この分野で初の横断的交流団体
- 新しいビジネスパートナー・潜在顧客との交流
- 国際標準化情報への早期アクセス、標準提案プロセスへの参画

2021年度新規会員募集中



会員数	(2021年3月31日時点)
法人会員	22法人 / 54名
個人会員	3法人 / 4名
学術行政会員	15団体 / 26名

[事務局] 〒305-8564 茨城県つくば市並木 1-2-1
 産業技術総合研究所 健康医工学研究部門
 医療用立体モデルコンソーシアム事務局
 TEL:029-861-7123 FAX:029-861-7840
 E-mail: Med3DM-o-mi@aist.go.jp URL: <https://med3dm.cons.aist.go.jp>

